

山形県支部の沿革

※こちらでは、明治から大正にかけての災害救護活動の歴史を交えた沿革を記載しています

明治 20 年 10 月 28 日 山形委員部設置 県庁内に事務所を置く

明治 29 年 7 月 1 日 地方委員部を全廃、各地に支部を置く
山形委員部を山形支部とする

明治 44 年 5 月 8 日 **山形市大火**、山形支部事務所の焼失
支部事務所を山形市役所内に移転

大正 元 年 11 月 12 日 山形支部事務所移転
山形市旅籠町へ

大正 4 年 12 月 22 日 山形支部事務所、山形市役所内に移転

大正 6 年 5 月 22 日 **米沢大火救護**
米沢市代官町から出火、家屋2,294戸を焼失、救護員6名を現地に派遣し、銅屋町に救護所を設置

大正 7 年 9 月 13 日 山形支部事務所新築、移転
山形市旅籠町万日河原

大正 8 年 5 月 19 日 **米沢大火救護**
米沢市館山口町から出火、上杉神社、市役所をはじめ1,385戸を焼失
救護員6名を現地に派遣し、救護所を設置

大正 12 年 9 月 1 日 **関東大震災に救護班派遣**
救護班2班を派遣し、救護所2ヶ所を開設

※上記年表の作成に当たっては、極力資料の収集につとめました。明治44年5月の山形市大火で支部事務所を焼失したのをはじめ、その後移転が数回行われた等の事情により明治、大正、及び昭和初期にかかる保存文書が皆無に等しいため、火災を逃れた諸資料と県民からお寄せいただいた記録だけをもとに作成されております。